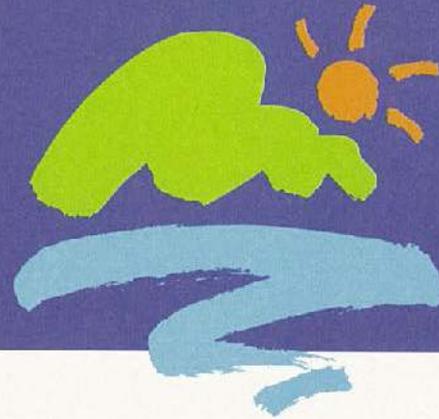


国土交通省 | 天竜川上流河川事務所



DATE: 令和3年12月1日



いのちと暮らしをまもる
防 災 減 災

1. 件 名 令和3年度 手づくり郷土賞（一般部門）（国土交通大臣表彰）に
「天竜川総合学習館 かわらんべ」が選定されました！

2. 概 要 平成14年7月の開館以来、地元研究者や防災の専門家と連携した防
災講座や、地域の子ども等に天竜川水辺の特性に着目した災害・生物・
環境などの総合学習などが地域活性化に寄与する取り組みとして評
価されました。
12月18日（土）に東京都で開催される受賞記念発表会に参加しま
す（詳細は別添資料のとおり）

受賞団体への認定証の授与については、日時・場所等が決まり次第、
改めてお知らせします。

3. 資 料 別添のとおり
4. 解 禁 なし
5. 同時配布 伊那記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ、飯田市記者クラブ
6. 問合せ先 国土交通省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所
副所長 加藤 博（かとう ひろし）
保全対策官 白鳥 浩司（しらとり こうじ）
電話 0265-81-6414

※下記ホームページもご覧下さい。

【URL】中部地方整備局 <https://www.cbr.mlit.go.jp/>
天竜川上流河川事務所 <https://www.cbr.mlit.go.jp/tenjyo/>

同時発表：北海道開発局、各地方整備局

令和3年11月26日
総合政策局公共事業企画調整課
大臣官房公共事業調査室

ふるさと

令和3年度 手づくり郷土賞（国土交通大臣表彰）に「接岨湖（長島ダム湖）」及び「天竜川総合学習館」を活用した地域づくりの取り組みを選定！

国土交通省は、社会資本と関わりをもつ地域づくりの優れた取組を推進するため、全国各地から応募のあった活動の中から、13件（一般部門12件、大賞部門1件）の優れた活動を令和3年度の「手づくり郷土賞」として選定しました。

また、受賞記念発表会を12月18日に開催します。今回は、延期となっていた令和2年度の受賞記念発表会と同時開催です。

■令和3年度「手づくり郷土賞」の選定

11月10日に有識者による選定委員会を開催し、全国各地から応募のあった30件（一般部門27件、大賞部門3件）の中から、優れた活動13件（一般部門12件、大賞部門1件）を「手づくり郷土賞」として選定しました。 ※活動の詳細は、資料1、資料2をご覧ください。

今後、各地方整備局等を通じて、受賞団体への認定証の授与が行われます。詳細については、改めて各地方整備局のホームページ等でお知らせします。

■「手づくり郷土賞受賞記念発表会 2020-2021」の開催

全国に優れた取組が広がることを目的に、手づくり郷土賞の受賞者から活動の紹介を行って頂く発表会を開催します。

1. 日 時：令和3年12月18日（土）12時30分～16時30分（予定）
2. 場 所：東京国際交流館プラザ平成 3階 国際交流会議場（東京都江東区青海 2-2-1）
3. 内 容： 1）令和2年度・令和3年度の受賞団体による活動プレゼンテーション
2）ベストプレゼン賞の決定

4. 参加申込み

- ・会場観覧またはオンライン視聴によりご参加いただけます。
- ・会場観覧ご希望の方は、12月10日17時までに申込みが必要です。
（会場観覧定員200名）※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ・オンライン視聴は申込不要ですが、
CPD単位取得をご希望の方は事前にお申込みください。
※建設コンサルタンツ協会 CPD・土木学会 CPD・都市計画 CPD の認定プログラム申請中
- ・申込み・オンライン視聴はこちらのサイトから → <https://tedukur-i-furusato.jp>
二次元コード（QR）からもアクセスできます。



○問い合わせ先

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 武田、神野

TEL 03-5253-8111（内線 24563、24535）、03-5253-8912（直通） FAX 03-5253-1551

○中部配付先：中部地方整備局記者クラブ

○中部問い合わせ先：中部地方整備局 企画部 老平、前川 TEL 052-953-8127（直通）

令和3年度 手づくり郷土賞 選定結果

<一般部門：12件>

No	都道府県	市区町村	応募案件名	応募者	
				地域活動団体	社会資本管理団体
1	北海道	利尻町	”資源蘇生”未利用資源を活かした地域づくり ～海藻アートの独自文化と子どもたちへの継承～	NPO法人利尻ふる里・島づくりセンター	—
2	長野県	安曇野市	絶滅危惧種の地域への拡大を目指して ～オオルリジミを市民の手で郷土に復活～	岩原の自然と文化を守り育てる会	—
3	静岡県	川根本町	接岨湖(長島ダム湖)で町を元気に!	一般社団法人 エコティかわね	—
4	長野県	飯田市	天竜川総合学習館発「川に親しむ河童人づくり」 ～水辺空間を多様な体験学習に活用～	天竜川総合学習館 かわらんべ	中部地方整備局 天竜川上流河川事務所
5	京都府	亀岡市	京都・亀岡 ～保津川のプラごみをなくそう～	川と海つながり共創プロジェクト	—
6	京都府	向日市	「竹の径」に倣え「藪の径」景観づくり ～市民による手づくり郷土ランドスケープ～	藪の傍	—
7	兵庫県	姫路市	姫路城中曲輪バタフライガーデン創造事業 ～SDGsの理念の実現と学校を核とした郷土づくり～	白鷺学校運営協議会	—
8	島根県	邑南町	三江線鉄道公園 ～鉄道遺産を活かした「まちづくり」・「インフラツーリズム」の取組～	特定非営利活動法人 江の川鐵道	邑南町
9	佐賀県	伊万里市	水辺施設「ウォーターフロントこまなき」 ～自然との共生と利活用～	駒鳴集落を守る会	—
10	佐賀県	鹿島市	森里川海干潟をつなぐまちづくり ～有明海再生に向けて～	鹿島市ラムサール条約推進協議会	鹿島市
11	長崎県	雲仙市	ジャカランダで子供達が誇れるふるさとづくり	小浜温泉57	—
12	熊本県	南阿蘇村	南阿蘇・立野ダムインフラツーリズムの実践 ～地元密着・自立運営型での商品開発と運営～	一般社団法人みなみあそ観光局	—

<大賞部門：1件>

No	都道府県	市区町村	応募案件名	応募者	
				地域活動団体	社会資本管理団体
1	北海道	美幌町	手づくり魚道の完成が出发点! ～SDGs時代の川との付き合い方～	駒生川に魚道をつくる会	—

令和3年度手づくり郷土賞【一般部門】 選定案件概要（全12件） 資料2

No. 1 (北海道・利尻町) ”資源蘇生”未利用資源を活かした地域づくり ～海藻アートの独自文化と子どもたちへの継承～



海藻押し葉体験工房



島の駅と雪まるだ灯りフェスティバル

<活動内容>

「資源蘇生」をコンセプトに海の厄介者である雑海藻をアートの素材として活用することで独自文化を確立し、子どもたちに豊かな自然環境を継承する地域づくり活動をスタート。小中高生を対象とした海藻押し葉の体験教室、親子体験会等の取組を通じて次世代を担う子どもたちなどの郷土愛を育てている。商店街に位置する歴史的建築物を拠点「利尻 島の駅」として再生したことで観光客等の往来が活発化、コロナ前の2019年には利用者が7千人を上回る。また、島の駅前の町道を活用した「雪まるだ灯りフェスティバル」等各種イベントを開催するなど、地域活性化を図っている。

<地域活動団体>

NPO法人利尻ふる里・島づくりセンター

No. 2 (長野県・安曇野市) 絶滅危惧種の地域への拡大を目指して ～オオルリジミを市民の手で郷土に復活～



クララ苗配布会



サンクチュアリでのオオルリジミ観察会と調査の状況

<活動内容>

岩原を舞台とする活動により国営アルプスあづみの公園内外が発展することを目指して、岩原区民約10名を発起人にして出発。国・県・安曇野市が絶滅危惧種に指定するオオルリジミをかつての分布域に戻して、保護するための活動を行っている。学習会の開催、オオルリジミ乱獲防止のパトロールを実施し、オオルリジミ観察会・食草クララの植栽イベントに協力している。食草クララのポット苗の配布イベント参加者数は1,500名以上となり、市民ぐるみの活動に発展するなど地域活動に寄与している。

<地域活動団体>

岩原の自然と文化を守り育てる会

No. 3 (静岡県・川根本町)

接岨湖(長島ダム湖)で町を元気に！



エコツーリズム(カヤック体験)



ダムの役割学習(ダム内の見学)

<活動内容>

長島ダムがある川根本町は、都市部と比較してアクセス面で劣るが、ダム湖及び周辺の自然は魅力的な場所である。この魅力を町外の人に伝えることで、この町に興味を持つ人を増やし、地域活性化を図りたい思いから、平成28年に(一社)エコティかわねを設立し取り組みを開始。ダム湖を活かしたエコツーリズムや環境学習、自然観察や散策、ダムの役割の学習などを実施しており、令和2年は町内外から370人が参加。これら活動は地域の賑わい創出はもとより、取り組みに参画する地元住民、移住者、町外住民のコミュニティの場となっている。

<地域活動団体>

一般社団法人 エコティかわね

No. 4 (長野県・飯田市)

天竜川総合学習館「川に親しむ河童人づくり」

～水辺空間を多様な体験学習に活用～



親子で参加する防災講座



総合学習(水辺の昆虫探し)

<活動内容>

「天竜川総合学習館」は、水災害の防災拠点として平成14年7月に開設した。本施設は水防災に対する住民意識の醸成や水辺環境の果たす役割の総合的な学習を目的として発足した。地元研究者や防災の専門家と連携した防災講座や、地域の子ども等に天竜川水辺の特性に着目した災害・生物・環境など十数分野にて年間100回以上の総合学習を実施しており、総合学習には年間約3000人が参加している。地域住民の防災意識の向上や地域のコミュニティ活動として地域活性化に寄与している。

<地域活動団体>

天竜川総合学習館 かわらんべ

No. 5 (京都府・亀岡市)

京都・亀岡

～保津川のプラごみをなくそう～



『子ども海ごみ探偵団』による保津川清掃活動・ごみ調査活動



『子ども海ごみ探偵団』による舞鶴海岸でのごみ調査活動

<活動内容>

市内を貫流する保津川において、漂着するごみに危機感を抱いた保津川下りの船頭有志により平成16年に清掃活動を開始。その後、様々な団体・企業など19団体と連携した活動を継続している。「子ども海ごみ探偵団」では小中学生を対象に、ごみの回収・調査を行っている。また「保津川の日」を制定し、様々な団体を巻き込んだ市民参加型の一大清掃とイベントでリユース食器を使う屋台を行い、清掃活動や環境教育を通じて内陸部からの海ごみの発生抑制に取り組んでいる。

<地域活動団体>

川と海つながり共創プロジェクト

No. 6 (京都府・向日市)

「竹の径」に倣え「藪の径」景観づくり

～市民による手づくり郷土ランドスケープ～



市道脇に竹垣を設置し、土砂流出防止・景観向上を図っている



放置竹林を伐開し竹藪敷を作成・合気道の練習などで活用

<活動内容>

当該地域は元タケノコ畑と竹藪敷が文化的景観・風致に優れた地域であったが、高齢化・竹産業の衰退により放置竹林が顕著となり、景観の悪化・住環境への悪影響を及ぼしていた。平成29年より常時20人程度で竹藪敷(市道)、放置竹林(約2ha)の整備。間伐竹で冒険小屋・茶室・竹藪敷・市道竹垣を製作、タケノコ栽培教室開催、メンマづくりを通じ食利用による竹林整備等を実施。これら美化活動・間伐竹での製作活動・イベントを通して、竹文化の継承・地域の活性化に取り組んでいる。

<地域活動団体>

藪の傍



全国の地域づくりに
関心のある方へのメッセージ



手づくり郷土賞

入場無料

令和3年12月18日(土)
12時30分～16時30分(予定)
東京国際交流館プラザ平成
国際交流会議場
東京都江東区青海2-2-1

ふるさと
郷土賞
受賞記念発表会
2020-2021



◆「手づくり郷土賞」とは

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれらと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれる活力ある郷土づくりに資することを目的として、令和61年度に創設され、令和3年度で36回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

◆手づくり郷土賞受賞記念発表会について

第35回・第36回手づくり郷土賞を受賞した、優れた地域づくりに取り組む団体が全国から結集し、プレゼンテーションを行い、委員・来場者の投票によりベストプレゼン賞を決定します。

なお、受賞団体の活動内容や発表会の様子はFacebookやホームページでも情報発信します。

開催日時 令和3年12月18日(土)12:30~16:30(予定)

スケジュール

- 開会
- 第35回(令和2年度)受賞団体によるプレゼンテーション
- 第36回(令和3年度)受賞団体によるプレゼンテーション
- ベストプレゼン賞の発表
- 閉会

※令和2年度(第35回)及び令和3年度(第36回)の受賞記念発表会を同時開催します。
※終了時間はプレゼンテーション参加団体数に応じて、変更になる場合がございます。
※プレゼンテーションは、当日会場で発表を行う「発表部門」と事前に撮影した動画による「動画部門」の2部門に分けて実施予定です。



お申込み方法

会場観覧またはオンライン視聴によりご参加いただけます。

- ・会場観覧をご希望の方は、下記サイトより事前にお申込みください。
- ・オンライン視聴をご希望の方は、下記サイトから視聴いただけます。

申込みは不要ですが、CPD単位取得*をご希望の方は下記サイトより事前にお申込みください。

<https://tedukuri-furusato.jp>

※建設コンサルタンツ協会CPD・土木学会CPD・都市計画CPDの認定プログラム申請中

こちらからも
アクセスできます▶



お申込み締切

令和3年12月10日(金)17時 会場観覧定員:200名

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

開催会場

東京国際交流館プラザ平成 国際交流会議場

所在地:〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1

アクセス:ゆりかもめ「東京国際クルーズターミナル」東口より 徒歩約3分

りんかい線「東京テレポート」B出口より 徒歩約15分

お問い合わせ先

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課

メール:hqt-tedukuri-sogo@gxb.mlit.go.jp

FAX:03-5253-1551

※送信するメールの件名は、「手づくり郷土賞受賞記念発表会2020-2021」の問い合わせとしてください。



手づくり郷土賞の情報はこちら

手づくり郷土賞ホームページ

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tedukuri/>



手づくり郷土賞フェイスブック

<https://ja-jp.facebook.com/mlit.tedukuri/>

